

令和7年度「防犯意識に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

アンケート結果をもとに、横浜市防犯のまちづくり推進プラン（仮称）素案に次の内容を反映しました。

また、次期「横浜市中期計画 2026～2029」素案にも一部反映しました。

- ① 重点事業に「暗がりの解消」を採用
夜間の照度改善を最優先課題とし、夜間の道路や通学路など、不安を高める暗がりを減らすために効率的かつ計画的な暗がりの解消を進めます。
- ② 情報発信の強化
世代やライフスタイルに応じて、紙媒体や LINE などの SNS 等、複数の手段を組み合わせた情報発信をしていきます。
- ③ 地域参画の仕組みづくり
ながら見守りの強化を通じて、市民の皆様が気軽に防犯活動に参加できる環境を整えます。

2 アンケートを実施した感想

- ① 夜間の照度改善への要望が最も多かったこと
Q2「どのような場所で防犯上の不安を感じますか」の質問では、約72%の方が「キ 夜間の道路（暗い道など）」を選択しており、防犯カメラよりも、暗い場所を明るくすることへの期待が高いことがわかりました。
- ② 情報提供が参加促進の鍵であること
Q16「地域の防犯活動に参加していない理由」の質問に対して、約3割の方が「カ 防犯活動の情報が届いていない」と回答していることから、地域の防犯活動に参加するきっかけづくりとして、情報発信の強化が重要であると確認しました。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果を踏まえ、市民の声を反映した横浜市防犯のまちづくり推進プラン（仮称）素案を作成しました。令和8年1月9日からパブリックコメントを実施しています。

今後も夜間照度改善や情報発信強化など、市民の皆様が安心を実感できる取組を進めていきます。

担当：市民局地域防犯支援課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。